



せんまぐ

2011.12.16 No.96

12⁻¹⁶

主な内容

2～5P 特集おらほノ魂「中川地域」

6～9P 所得税還付等調査委員会
調査報告書

10～11P 地域の話題

いちご
いちご
絵
たきごの
出会い
ありがとう
と。

「絵手紙シリーズ⑱」





▲をカラミ石で囲われた土蔵
▶三叉路の屋敷で長い歴史を見守ってきた巨樹の横の木(右の写真:左)と、そこから
すぐの県道沿いに中川小学校川崎分校跡地の標柱が建っている

経済、芸能がめざましく発展した 日三市鉱山隆盛の時代

参考文献:中川のあゆみ・里かくののだて・角館人物鑑

地域運営体について：仙北市では地域の身近な課題を地域住民が解決するなど、地域住民の自発的、自主的な活動を行う地域運営体の設立をすすめています。市の予算を、特産品づくりや起業などに有効活用することもできます。民分権を進め、行政も含んだ、総合的な仙北市の質を上げることがねらいです。



カラミ石と煉瓦蔵にて絵

鉱石から金属を取り出す過程で鉱石を砕いて溶かすと、銀や銅などの比重の重い金属は下に沈み、軽い岩石の成分は浮きます。それがカラミで固めたものがカラミ石です。

明治以降の近代化によって採掘量が増大し、伴ってカラミが増え、箱形に成形したカラミ石を売り出しました。建物の土台や塀、縁石などに活用されました。また、日三市鉱山では煉瓦の製造もされ、角館の店蔵にも使われているようです。

鉱山すぐ下の雫田集落にカラミ石を使った庭や蔵があり、目を引きまします。中にはこて絵で飾られた煉瓦蔵も。こて絵は大工職人が仕事させてもらった御礼とか、家主の依頼で描かせたり、一説にはその家の格付けを表していたともいわれ、富の象徴だったのです。

郷土芸能の盛んな里

雫田の三叉路に郷土芸能記念碑が建っています。昭和五年、東京日比谷の日本青年館で開催された第五回全国郷土舞踊民謡大会に田口織之助一行が出演。飾山囃子の素晴らしさが認められたのでした。美声と独特な節回しが評判だった黒澤三ーや田口幸太郎等の名が刻まれています。

角館周辺は民俗芸能の宝庫で、特に中川は盛んです。その開祖といわれているのが「三五郎」こと田口堅治です。父から芸を習い身につけ、長男幸太郎に厳しく教えました。明治三十七年に親子で「三五郎組」を名乗り上げ、囃子方と踊り子の組を完成させます。大場に堅治の功績を称えた「唄と踊りの碑」があります。

芸能を愛する中川の気風は、小玉暁村等の尽力によって全国へと発信されていくのです。

鉱山の隆盛と教育環境

明治九年、山谷川崎学校が聖覚院の小屋を仮校舎に開校。後に三省小学校川崎分校所と改め、さらに場所を変えながらも、日三市鉱山の隆盛に伴い、雫田に川崎尋常小学校が建てられました。校舎の完成は地域の悲願でもあったことでしょう。

中川小学校川崎分校として閉校するまで、地域の人づくりを担い苦難と繁栄を伝え残してきた学校の歴史は、ふるさとを愛し、感謝することの大切さを、地域の人たちに語り続けていくようです。



戦国時代く近代の中川地区

戸沢氏も鉱山経営

戦国時代にこの地方を統治していた戸沢氏。資料には一二二〇年く一四二三年に小松山城（古城山）に進

中世から鉱山の里？

出するまで居城していた門屋城を囲むように、一族や家臣が住んでいたとする城館（支城）が置かれ、中川地区にも、黒沢の横馬（間）館跡や若神子の館腰城のことが口伝に残っています。また、戸沢氏は鉱山経営で富を築き軍事力を高めたとあり、中川を含めて、松木内川沿いに鉱山が多かったことが想像できます。

日三市鉱山

発見された年代には諸説がありますが、江戸時代には佐竹藩が金山として採掘していました。明治九年、政府の民間払い下げで盛岡の事業家瀬川安五郎が荒川鉱山とともに購入。経営は安定していましたが明治二十九年に財閥の三菱に売却。近代化が図られ、明治四十年く大正五年が全盛期だったそうです。五百世帯二千人が住む鉱山町が形成され、病院や

寺院、郵便局、共同市場などがあって活気をかせていたことでしょう。変電所もあり角館の中心部よりも早く文明が進んでいたそうです。明治二十二年、当時の山谷川崎村と川原村、小勝田村の三村が合併して中川村となり、鉱山から毎年のように約七百万、今に換算するとどのくらいでしょうか、大金が村に寄付されていた口伝も残っています。

しかし、ヨーロッパ戦争（第一次世界大戦）の戦後の不景気や、大正十二年に死傷者も出た坑内火災に加え、繁華街でも大火災が起り、こ



▲閉山後、かつて働いていた関係者が鉱山跡を訪れ撮影したときの様子

地域の輝き
磨く人たち

おらほノ魂

特集 第7回

中川地域

江戸時代く大正は日三市鉱山で栄え、潤いそして北浦民謡の唄や踊りで結ばれ郷土芸能を愛し、今日にその伝統が引き継がれている中川地区。「三省」を校訓とし地域とともに歩み続ける中川小学校謙虚な姿勢と勉学・勤勉、仲間を大切にする郷土愛。歴史を学び新しい産業を興す中川地区運営体を取材しました。



中川小学校で見つけた、謙虚さと勉学・勤勉の伝統

「三省」を小学校の校名に。今は校訓に

中川小学校となる以前の校名が「三省小学校」で、校訓に「三省」のことがありますが。地域住民にも愛され大切にされていることばです。

「三省」の由来は次の通りです。明治八年に吉原学校（私塾）を開設した小勝田村の吉原貞右衛門は、川原村の戸長や山谷川崎村との三村連合区域による小学校設立に尽力されました。その当時の教育は儒学が本流で、「毎日幾度なく自分の身・口・意について反省する」を意味した、論語の「吾日に三たび吾身を省みる。人のために謀りて忠ならざるか、朋友と交わりて信ならざるか、習わざりしを伝うるか」から引用。三村連合も込めて「三省小学校」とし、明治十八年に設立しました。

少子高齢化が顕著ですが「学校が地域に元気を発信。子どもの元気で地域に活力を与えたい。学校が地域拠点の働きができれば」と話す沢屋隆世校長先生。地域交流を



▲沢屋校長先生が先頭となって、地域交流などでイキイキとした元気がいっぱいの学校運営をされています。



▲双方向交流事業の販売体験で、明るく笑顔で対応する子どもたち。



▲創造力がたくましく、季節感でいっぱいの子どもの作品。



▲三省まつりでの元気な子どもたちの発表会。▶レクリエーションと住民の作品鑑賞(下)の様子



深めています。

その一つ「三省まつり」では、住民の作品展示発表を小学校の発表会に行い、午後のPTAが主催したレクリエーションにも世代を超えて多くの住民が参加しました。また、地域のボランティアで、子どもたちが田植えや稲刈り、天日乾燥などの農作業体験をし、収穫した新米を「みんなニコニコ米」とネーミングし、双方向交流事業で交流している東京都上板橋で販売体験しました。子どもたちからは「楽しかった」と大変好評で、一年の活動報告としてPTAで発表される予定です。

地域を語る「三省」のことばから、真心と仲間意識、責任感、習うことの大切さを感じられ、謙虚さと一生懸命さが伝わってきます。地域に見守られながら社会でも挨拶する子どもたち。沢屋校長は「交流の輪をもっと広げるため、住民の皆さんにも学校施設を利用してもらいたい」と、地域へ感謝の気持ちでいっぱいでした。

三省まつりや農作業体験…

地域に「元気」を発信 交流を深める地域の拠点に

地域の活性化のために 学校は地域がつながる拠点

今年四月に設立した中川地区運営体。会長を務める小玉久視さんは、高校卒業以来三十五年ぶりに地域に戻り、「自分が子どもの頃は、小学校一クラス五十人くらいいたが、今は全校で五十人程度」と、児童数の減少をさみしく感じています。

少子化は時代の流れ。ならばと、積極的に子どもたちとふれ合う機会を小学校に相談。地域との交流を積極的に進めたい沢屋中川小学校長の想いと合致し、「三省まつり」(学習発表会)にあわせて地域の文化祭を合同で行うことを企画しました。

「三省まつり」に多くの地元住民が参加しています。「小学校にある設備も開放してくれる。学校を核にして地域活動していきたい」と、学校との連携をさらに進めて、地域の活性化に取り組みます。

さらに小玉会長は「運営体はやること、みんなが参加できることからやっていく」と、無理をせずに活動している様子で、案内看板設置事業で地域の一体感に手応えを感じ、「今後は便りのようなものを発行して、運営体の動きをもっと知ってもらえればさらに良くなると思う」と、今後の取り組みを話してくれました。

「赤そば」で元気づくり

活動八年目の角館そば生産組合(鈴木秀夫会長)では昨年から赤そばの栽培に取り組みんでいます。品種は「高嶺ルビー」で、食用はもちろんですが、赤い花による景観の美しさで知られています。

組合事務局長の山本實さんは「手のからまない作物とはいえ、最近の悪天候には苦労している。赤そばの花が咲く畑を観ながら食べてもらいたい」と、動き出しています。



調べて学ぶ

歴史文化の継承保存事業で、中川の歴史を調査している田口武彦さん(写真右)と戸沢正隆さん。「地元にながら、わからなかった部分も出てくると思うので非常に楽しみにしている」と話し、郷土史の発行を3年計画で行っていきます。

地域の案内看板

環境整備事業として19ヵ所に設置した地域の案内看板が好評です。現在地の地名のほか、他に他地区の方向も記したおかげで、地元以外の方も迷わず移動できている模様です。地区の皆さんにとっても安心です。



中川地域運営体



会長◆小玉久視さん

中川地域運営体 平成23年度の事業概略

- 地域内環境整備事業
 - 地域案内標識板の新設
- 地域安心・安全対策事業
 - 災害発生時対策として発電機の備え付け
 - ※ 地域拠点施設(6ヵ所)
- 地域歴史文化の継承保存事業
 - 中川地区の歴史を調査・保存する
- 地域の活性化事業
 - スポーツを通じた、子どもと地域住民が交流するための用具購入
 - 中川小学校の「三省まつり」(学習発表会)にあわせて、地域住民が多く参加できるような文化作品の展示会の実施



角館そば生産組合事務局長の山本實さん

秋田県仙北市

「所得税還付等調査委員会
調査報告書（概要版）」について

所得税不正還付等の問題について、市民の皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけしています。心よりお詫び申し上げます。昨年、国保調整交付金不正受給問題に続き、絶対不起きてはならない事実でした。重ねてお詫び申し上げます。

4月より税務業務に見識の深い県庁職員を市の調査局長に迎え、市長直属機関として所得税不正還付等調査局を立ち上げ、慎重に調査を行ってきました。当初は半年程度を見込んでいましたが、事案の深さと広さに調査が難航し、多くの時間を費やすことになりました。11月29日、所得税還付等調査委員会（委員長は

石山修副市長）と、所得税還付等調査市民検証委員会（委員長は佐藤明彦秋田銀行田沢湖支店長）から調査報告書を提出いただきました。このうち市民検証委員会からは、調査方法やそこから導き出された結論、今後の対策などについて妥当性を検証していただき、適正であるとの結論をいただきました。これを受け、11月30日開会の第7回仙北市議会定例会において、議会の皆様に報告書を提出させていただきます。

今号に掲載した報告書（概要版）は、これまでの調査結果を簡潔にまとめたものです。調査を進める中で追加調査項目となった軽自動車税の調定乖離、固定資産税の調定乖離等を除き、調査業務は終了しました。ただし調査局はこのま

ま存続し、残る税目（軽自・固定資産）についての調査を継続します。

今回の事案は、当時の職場で組織ぐるみに行われていたものと判断します。実行者はもちろんのこと、それを指示した、あるいは行わざるを得ないような環境を作り上げた、または黙認し、放置した上司の管理監督責任は非常に重く、年内にも仙北市職員事故等審査委員会で審議し、事実に基づき厳しい処分を下します。

市民の皆様には、本当に申し訳ない限りです。一刻も早く組織体制を整え、再発防止策を講じ、失った信頼を取り戻すことに全力を尽くします。

仙北市長 門脇光浩

所得税還付等調査委員会（委員長：石山修副市長）から門脇市長へ報告書が手渡されました

所得税還付等調査委員会調査報告書（概要版）

平成 23 年 11 月 25 日
仙北市所得税還付等調査委員会

1. 調査対象期間

項番	調査項目名	調査対象年度									
		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
1	個人住民税の繰越調定額の乖離について	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	所得税の不正な還付について						○	○	○	○	○
3	国民健康保険税の調定減額について		○	○	○	○	○				
4	個人住民税の不正な減額等について					○	○	○	○	○	
5	申告支援システムの事前データの内容の誤りについて					○	○	○	○		
6	軽自動車税の調定乖離について					○	○	○	○	○	
7	固定資産税の調定乖離等について					○	○	○	○	○	

2. 各種影響額

(単位：円)

項番	影響項目	影響額	影響区分				内過大受給	差引
			国	県	町	社会保険 診療報酬 支払基金		
1	所得税	2,985,601	2,985,601					2,985,601
2	町民税	3,445,947			3,445,947			3,445,947
3	県民税	1,600,069		1,600,069				1,600,069
4	国保調整交付金	15,263,000	15,263,000				15,263,000	0
5	基盤安定負担金	19,123	19,123				19,123	0
6	基盤安定負担金	9,313		9,313			9,313	0
7	療養給付費負担金	-7,233	-7,233					7,233
8	退職者医療交付金	209,126				209,126	209,126	9,285
9	交付税（収入額）	(調査中)	(調査中)				(調査中)	(0)
10	交付税（需要額）	(4,856,000)	(4,856,000)				(4,856,000)	0
11	国保特別会計	3,380,009			3,380,009			3,380,009
	合計	(31,768,188)	23,123,724	1,609,382	6,825,956	209,126	20,356,562	11,428,144

*（ ）内は暫定値である。すでに清算により県に払い込んだ県民税を含んでいない。



3. 主な調査の内容

（1）個人住民税の繰越調定額の乖離について

決算書を作成するにあたり、翌年度に繰り越すべき未納額が、税務システム上と決算書数値上で異なっていたことが発見されたものです。

また、秋田県に提出していた報告書と照合したところ、これらのいずれとも一致しませんでした。

●未納の大小関係

秋田県への報告

＞

税務システム

＞

決算書

調査の結果、本来秋田県に払い込むべき県民税の一部393万2787円を払い込まず、町民税の収入に計上していたことがわかりました。

また、秋田県に対しては、県民税の払込みが少なくなっている分を調整したうえで報告書を作成し、提出していたこともわかっています。

仙北市は平成23年9月28日に、この

不足していた分を秋田県に払い込んでいます。

（2）所得税の不正な還付について

所得税の控除額を水増しした確定申告書を職員が作成して税務署に提出し、受け取ることでできる還付金を差し押さえて、主に国民健康保険税の滞納に入金していました。

滞納のあるご本人の分だけでなく、同じ世帯の滞納のないご家族の確定申告書も作成して還付金を差押えし、滞納となっている税に入金している例も明らかとなりました。

この行為には平成14年度以降17年度まで4名の職員が関わっていました。平成14年度以降に限れば、職員は源泉徴収票を入手するために必ずご本人またはご家族にお会いし、「源泉徴収票を提出してくれば、還付金が発生するので、その還付金を滞納に充てさせてもらいたい」などの説明を行っています。

ただし、当時の職員から事情聴取した内容から、平成12年分所得以前に関しては、納税者ご本人に全く無断で確定申告書を作成・提出し、還付金を差し押さえていた可能性があります。実際に確認可能な平成13～18年度

までを調査した結果、入力の際の誤りなどを含めて、87件で所得税額の一部136万8030円が不足に計算されていることがわかりました。

また、住民税についても、町民税が90件で46万1800円、県民税が90件で30万6500円、それぞれ不足に計算されていることがわかりました。

（3）国民健康保険税の調定減額について

国民健康保険税の滞納がある方について、主に出納整理期間となる翌年の4月から5月にかけて、根拠なく課税額を減少させ、未納額を少なくする操作をしていたことがわかりました。

国からの調整交付金が減額されないようにするためには収納率93％を維持する必要がありますが、この収納率は実際に収入した額を全体の課税額で除して求められます。

このため、職員は控除額を水増しした確定申告書を作成して国民健康保険税に充てる還付金を増やして分子である収入した額を増やす一方、分母である全体の課税額を減らす操作をしていたものです。

平成10～14年度の期間を調査したところ、この、根拠のない減額など

によって過大に受け取っていた国からの調整交付金の額は、全部で1千526万3000円に上ることがわかりました。

さらに、国民健康保険税の課税状況は国からの交付税額算定の基礎数値として使われていますが、これが意図的にゆがめられてしまったことになりました。

本来の姿に戻した上で交付税額を算定した場合、少なくとも485万6000円の交付税を過大に受け取っていたものと予想されます。

（4）個人住民税の不正な減額等について

調査の途中で発見されたものです。

個人住民税が全く課税されていない例、本来の額より少なく課税されている例などが発見されています。また、滞納している方に限ってこのような例が見られるわけでもないようです。

職員に事情聴取したところ、所得税の修正申告書が提出された場合、過年度実績分は滞納になりやすいので住民税を課税しないよう、上司から指示を受けたという話がありました。また、担当者が替わった際にもこの指示は引き継がれたようです。

そのほかの例では、確定申告書の所得よりも低い所得で住民税が課税されている例や、当初は正しく住民税が課税されているが、後から根拠の見つからない減額が行われている例などがありました。

職員の事情聴取によっても、これらの点について説明はなく、また実際に誰が操作したかも不明であるため、実行者や指示の有無、動機などについては不明のままとなっています。

不正な住民税の減額の額は、平成12～17年所得で49件312万7816円（町民税225万747円、県民税87万7069円）に上ることがわかっています。

（5）申告支援システムの事前データの内容の誤りについて

申告相談などで使用する「申告支援システム」を使用する際に参考とする「事前データ」の内容に誤りがあったという事例です。

調査の過程で発見されたものです。確定申告するとき、国民健康保険税は前年中に実際に支払った額を所得から控除できますが、事前データには実際に支払った額ではなく課税された額が取り込まれていて、申告相談の際に

申告支援システムを利用する職員もほぼ全員がこの事前データの数値で控除を行っていました。またこの結果、本来の所得・住民税額よりも少ない税負担となっている例が発見されています。データの取り込みは、職員が、実際に保守するシステムエンジニアに取り込むデータを指示してシステムエンジニアが作業をしており、指示を出した職員やチェックを怠った職員、早期に対策を講じなかった職員に責任があると判断しています。

平成13～18年度までの期間を調査しましたが、平成13～16年度までの4年間で、所得税額で233件161万7571円、町民税額で260件73万3400円、県民税額で260件41万6500円が不足に計算されていたことがわかっています。

（6）軽自動車税の調定乖離について

課税・収納された軽自動車税の額が、税務システムと決算書で異なり、決算書に計上されている額の方が少なくなっているというものです。

職員の事情聴取からは、システムで課税された額より少ない額を決算書に計上していた事実が明らかとなっています。

動機としては、決算書の見かけの収入率を取り繕うために長年にわたり行われてきたものと判断しています。

また、伝票などで確認したところ、収入額の一部は、他の税目、あるいは他の年度の税収に振り替えられていることがわかりましたが、発見されている伝票がすべてではないため確認は一部にとどまっています。

（7）固定資産税の調定乖離等について

課税・収納された固定資産税の額が、税務システムと決算書で異なり、課税額では決算書に計上されている額の方が多くなっており、収納額では決算書に計上されている額の方が少なくなっているというものです。

当時の担当職員に事情聴取したところ、当時決算書に計上する調定額は係長クラス以上の職員が起票しており、原因について思い当たらないとのことでした。

平成12年度以前の決算で、決算書上の未納が実際より少なく計上されて繰越調定額が圧縮され、収入率が見かけ上大きくなっていた可能性があり、これを合併までに解消しようとして、現年分の未納を増やし、繰越調定額を意

図的に増やす操作をしていた疑いがあります。平成13～14年度分の一部の帳簿からは、平成13年度に収入している固定資産税の一部が平成14年度の翌年度現年分の固定資産税収入に移されたと思われる形跡が見つかりましたが、その他の期間については帳簿の一部が見つかっていないため、確認ができていません。同様に他の税目または別の年度の税収入として計上されていたと見られます。

また、調査の中で過去に固定資産税が課税されていないと疑われる例が見つかりました。当時の職員に事情聴取しましたが、「当時、課税されていないことがわかってすぐに課税した記憶はあるが、なぜそれまで課税されていなかったのか、原因まではわからなかった」ということです。

※調査報告書（概要版）に記載されている影響額については、関係機関による精査により変動する場合があります。



地域の話題

市内9つ目の地域運営体

「角館まちづくり地域運営体」設立

認定書を受け取る小林郁男会長（中央）と田口勝次幹事長（右）



11月27日、角館樺細工伝承館を会場に、「角館まちづくり地域運営体」の設立総会が開催され、市内9つ目の地域運営体が誕生しました。これで、全ての地域に地域運営体が誕生しました。今年度の事業として、地域内に独自の事務所を設け、みんなが集える賑わいと憩いの場として提供していく事業などが盛り込まれました。これからの実り豊かな活動が期待されます。

仙北市交通安全市民大会

交通事故のないまちづくり誓い合う

仙北市交通安全市民大会が11月15日、西木温泉クリオンで開催され、市内の交通安全関係者や老人クラブ会員など約180人が参加しました。大会では、交通安全に功績のあった3個人、1団体の表彰や感謝状の贈呈を行い、仙北警察署交通課長や西明寺診療所所長の市川晋一先生の講演が行われ、最後に「交通安全は職場と家庭の会話から」などの大会宣言を採択しました。当日の被表彰者は次のとおりです。（敬称略）

個人
山形則男（角館町、藤原由悦（田沢湖）、草薙紀雄（角館町）
団体
白岩小百合保育園交通安全母の会（角館町）

松木内地域運営体

松木内地域産業振興推進の集い

11月13日、紙風船館で松木内地域運営体（橋本左武郎会長）による「第2回松木内地域産業振興推進の集い」が開催されました。地域特産手づくりコンクルのほか、西明寺診療所所長の市川晋一先生や仙北市総合産業研究所地域資源活用専門員の泉牧子さんの講演も行われました。地域の結果は次のとおりです。（敬称略）

金賞 布谷裕美子『松木内で育った宿雛かぼちゃのプリン』
銀賞 門脇秀子『栗の渋皮煮』
惣菜の部
金賞 阿部重廣『春菊玉子手打ち生麺世界初』
銀賞 武藤須美子『南蛮みそ』
漬け物の部
金賞 橋本敦子『山わさび三兄弟』
銀賞 門脇佳代子『きのこのでり力漬』

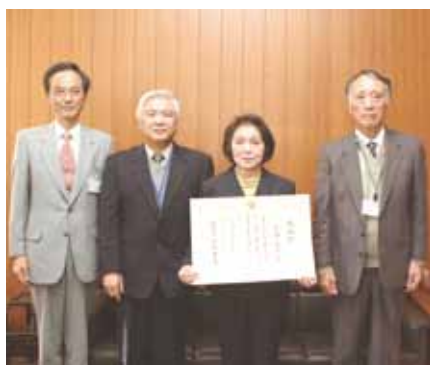


にこにこ保育園の園児による交通安全の呼びかけ

人権擁護委員として長年活躍

石橋正子さんに法務大臣から感謝状

11月25日、市役所角館庁舎で石橋正子さん（田沢湖）に秋田地方法務局大曲支局長と大曲人権擁護委員協議会会長から感謝状と記念品が贈呈されました。石橋さんは、平成9年6月1日から平成23年10月31日まで人権擁護委員としてご活躍。人権相談や啓発活動など、市民の人権を守るためにご尽力されました。



「12月1日の「いのちの日」キャンペーン

心の健康と自殺予防を呼びかける

12月1日の「いのちの日」にちなみ、11月30日、ワンダーモールタカヤナギ角館店の協力を得て、店頭で自殺予防キャンペーンを実施しました。ふれあいサポーターと市職員の計11人が参加し、午後4時から1時間、こころの健康づくり・自殺予防パンフレットを配布し、心の健康と自殺予防について呼びかけました。



仙北市こころのいのちを考える集い

配慮ある優しさとは

11月30日、角館樺細工伝承館で、「仙北市こころのいのちを考える集い」が開催されました。秋田グリーンケア研究会代表の涌井真弓さんが『心に向き合う・喪失から生きる希望へ』をテーマに基調講演を行い、「大切な人との死別は、誰にとっても辛い悲しい体験。周りの人ができることとして、ただ寄り添ってあげること、ただ話を聴くことが、配慮ある優しさである」と話しました。

基調講演のあとには、田沢湖



基調講演を行う涌井真弓さん

かたりの会代表の藤原まりさんが「笑顔になる昔話」をテーマに講話。藤原さんは、面白おかしく昔話や歌を披露し、会場に訪れた100人ほどの聴衆が笑顔でいっぱいになりました。

東温市児童民生委員訪問

市民レベルでの交流を深めたい

11月29日、愛媛県東温市の児童民生委員の皆さん30人が、今年1月の「災害時相互応援協定」を縁に、仙北市を訪れました。一行は、市役所角館庁舎で東日本大震災での仙北市の取り組みを確認。遠方同士の災害協定がいかに有効であったかを再認識しました。訪れた東温市の方は「これを機に、市民レベルでの交流を深めたい」と話しました。



角館に新キャラクター登場（せんぼくアートプロジェクト応援事業）

「お梅姫」お披露目イベント開催

11月27日、角館企画集団トライアングル（石橋正則代表）が製作した角館の地域新キャラクター「お梅姫」（愛称：お梅ちゃん）のお披露目イベントが開催されました。

モデルとなったのは、実在した江戸時代の佐竹北家2代当主の次女「お梅」姫。イベント当日は、JR角館駅での新幹線乗客のお出迎え、武家屋敷通りでの観光案内などを行い、角館を大いにPRしました。



角館樺細工伝承館前での家臣団との記念撮影

せんぼくアートプロジェクト 応援事業

音楽でつながろう

この度、角館交流センターで「あしたのうたコンサート」（音楽でつながろうプロジェクト主催）が開催されました。スマップや嵐など多くのアーティストの編曲などを手がけているh.a.i.iさん（角館町出身）など、仙北市出身のアーティストを中心とした4組14人のステージで、会場は超満員となり、大いに盛り上がりました。会場では、震災復興応援のために23万円を超える募金が集まり、出演した「あしたのうたプロジェクト」を通して全額被災地に寄付されます。



夏の節電へのご協力
ありがとうございました

この夏は、対前年比15パーセントの節電目標をおおむね達成することができ、計画停電や大規模停電を回避することができました。皆様のご協力、ありがとうございました。

この冬も
節電が必要なの？

東日本大震災等により被害を受けた東北電力の発電所は、順次復旧してきていますが、この冬も供給力不足が想定されています。

今のところ、東京電力などからの電力融通により計画停電は回避できる見込みですが、突発的な事態に対処するとともに、省エネ型のライフスタイルを実現していくため、この冬も節電へのご協力をお願いします。



なお、数値目標は定めませんので、健康や安全に十分留意し、無理のない範囲での取り組みをお願いします。企業活動・生産活動へのご負担となるような節電も必要ありません。

私たちは
何をすればいいの？

夏と異なり、冬は夕方5時から6時頃が電力使用のピークとなる傾向にあります。この時間帯を中心として、日中の全体的な節電に心がけましょう。

●この冬の節電対策の実施期間・時間／12月1日から3月30日までの平日（年末年始の12月29日から1月4日を除く）の9時から21時まで

●問合せ／仙北市管財課
☎（43） 1114

冬の節電対策のお願い

家庭での取組ポイント

- ☑ 暖房は「室温 20℃」を目安とし、厚着するなど暖かい服装で過ごします。（健康や安全に十分留意し、無理のない範囲で行います）
- ☑ 夕方の時間帯では、消費電力の大きな電気機器の重複使用を控えます。
- ☑ 不在の部屋や明るい室内は消灯します。
- ☑ 暖房便座と洗浄水の温度は低めに設定し、使用しないときはフタを閉めます。
- ☑ 使用しない電気機器は、プラグを抜きます。

オフィス等での取組ポイント

- ☑ 事務部門を中心として、照明の間引きや未使用エリアの消灯をします。
- ☑ 暖房は「室温 20℃」を目安とし、「ウォームビズ」を実践します。（健康や安全に十分留意し、無理のない範囲で行います）
- ☑ 使用していないOA機器は、電源を切ります。
- ☑ 節電担当者を決めて、節電パトロールを行います。
- ☑ 職員や従業員に対して、家庭での節電を呼びかけます。



特別天然記念物である北投石の産地は、仙北市の玉川温泉と台北市（台湾）北投温泉の世界で2箇所だけです。この共通点を持つ市の交流は、昨年10月、門脇市長が台北駐日経済文化代表処を訪問した際に、馮寄台代表へ北投温泉との交流の希望を伝え仲介の労を依頼したことに端を発します。11月の訪台の際には台北市の温泉管理をする台北自來水事業処長と面会し、温泉協定の意向を伝え相互の理解および友好を推進することについての希望を申し入れました。

仙北市×台北市 親善と協力 末永い交流誓い合う



北投石が結ぶ 温泉提携協定

温泉協定調印式は8月19日、佐竹敬久秋田県知事が立会人となり、門脇市長、玉川温泉関社長出席のほか仙北市国際交流協会（高橋練三会長）の参加協力を得て、関係者約150人が出席し、台北市役所で開催されました。台湾原住民姿の小学生の歓迎の踊りで幕開けした調印式では、郝龍斌台北市長は「秋田との交流が温泉のように熱く脈々と続くように祈る」と挨拶。続いて佐竹知事が「北投石が取り持った縁を台湾と秋田の絆を深める契機にしたい」と述べました。玉川・北投両温泉の温泉水の一つの容器に入れた「温泉融合式」、台北市長や秋田県知事、仙北市長等の鏡開きが行われ、提携を祝うとともに、会場からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



澄清湖「辰子飛翔の像」前で

姉妹湖提携続く交流 「田沢湖と澄清湖」

昭和62年11月4日、田沢湖国際交流促進協議会（当時吉田淳二会長、現仙北市国際交流協会）が、田沢湖と澄清湖との世界初の「姉妹湖」提携のため、澄清湖を管理する「台湾省自來水公司」を訪れ、澄清湖畔にて調印を行いました。以後、相互の訪問交流、提携3周年には、有賀敬子氏製作の「辰子飛翔の像」が澄清湖へ、「飲水資源像」が田沢湖へ贈られました。また、観光写真展の相互開催などを行い、提携当初の目的でもあった観光客誘致にも寄与しています。24年前の姉妹湖提携も台湾駐日代表の仲人によるもので、この度の温泉友好協定提携調印もその延長線上にあり、台湾外交部の特段の協力・支援体制がなければ成し得ないことでした。

東日本大震災に 対する義援金

3・11の東日本大震災に対する義援金として、台湾省自來水公司より84万7404円が送られました。以前、台湾が台風被害を受けた際、田沢湖国際交流促進協議会が義援金を送った経緯から、「日本の田沢湖に愛を送ろう」と募金を募り、田沢湖国際交流促進協議会に送金されました。仙北市は震災の影響も少なかつたため、台湾側にも了解を経て、災害協定を結んでいる岩手県宮古市・山田町・大槌町へ仙北市国際交流協会として義援金を送りました。

各分野での 交流・発展に期待

田沢湖と澄清湖の姉妹湖提携が25年の節目を迎える来年。また、今回の玉川・北投両温泉の温泉提携協定を契機に、環境保全、北投石の技術研究や都市行政、観光客誘致など多分野での支援や協力が期待されます。高橋会長は、「姉妹湖提携に続きこの度の温泉提携により、仙北市の観光産業発展のすそ野を大きく広げた意味は大きい。さらにこの関係を拡充し、不況下の現状に対して、明るい未来への光となるよう力を合わせていきたい」と話しました。

除雪作業へのご協力をお願いします

6

1. 車道への雪出しはやめましょう

交通事故や交通渋滞の原因になります。

2. 路上駐車はやめましょう

1台でも大迷惑！道路はみんなが利用しています。

3. 玄関先から道路へ出る間口は各家庭で

間口の確保は利用目的に合わせて各家庭で力を合せて除雪しましょう。

4. 流雪溝は時間を守りましょう

時間・ルールを守らないと詰まる原因になります。
危険防止のため、投入口の鉄格子は外さないでください。

安全で快適な道路環境の確保にご協力をお願いします。

●問合せ／

建設課 ☎ 43-2294

田沢湖地域センター ☎ 43-1115

角館地域センター ☎ 43-3309



訂正とお詫び

広報 12月1日号、4ページ「人事行政の運営等の状況について」中、「特別職の報酬等の状況」に誤りがありましたので、次のとおり訂正しお詫びいたします。

(6) 特別職の報酬等の状況 (H23.4.1 現在)

区分	給料(報酬)月額	期末手当
給料	市長 680,000円 (850,000円)	6月期 1.40月分 12月期 1.45月分 計 2.85月分
	副市長 555,000円 (638,000円)	
報酬	議長 375,000円	
	副議長 328,000円	
	議員 312,000円	

※本来の給料月額()内の額から、市長は 170,000円(-20%)、副市長は 83,000円(13%)減額されています。

「仙北市安全・安心メール」にご登録ください！

●空メールで簡単登録！

toroku@anshin.city.semboku.akita.jp

へ空メールを送信してください。返信されるメールの内容に従って本登録を行ってください。

●仙北市安全・安心住民情報からも登録できます。

<http://anshin.city.semboku.akita.jp>

●問合せ／総合情報センター

☎ 43-3339



仙北市職員（介護福祉士）を募集します

3

●募集職種・採用予定人数・受験資格／

介護福祉士 若干名

▶新卒者／平成24年3月卒業見込みの学生で、介護福祉士免許取得見込みの者

▶経験者／平成24年4月1日現在満28歳未満の者で、現に介護福祉士免許を有し、老人福祉施設等で介護福祉士業務の経験がある者

●受付期限／平成24年1月20日(金) 17:15まで

●試験日・場所／平成24年1月29日(日)

▶仙北市役所田沢湖庁舎

●申込方法／総務課へお問い合わせください。

※次の欠格事項に該当する方は受験できません。

①日本国籍を有しない者

②地方公務員法第16条の規定により地方公務員となることができない者

冬期間の水道管凍結にご注意！

冬期間は、水道管の凍結が心配されます。

天気予報などで寒くなる予報の時は、水抜き栓を操作するなどして、水道管が凍らないようご注意ください。もし凍ってしまったら、水道工事店にお問い合わせください。

なお、冬期間、積雪によりメータ検針ができない場合、概算での請求になりますのでご了承ください。

【冬期間の水道料金口座振替予定日】

平成23年12月分 … 12月26日(月)

平成24年1月分 … 1月25日(水)

平成24年2月分 … 2月27日(月)

平成24年3月分 … 3月26日(月)

平成24年4月分 … 4月25日(水)

●問合せ／企業局業務課 ☎ 54-2388

水道の漏水による料金の減免について

自宅の水道の漏水を修理するとき、『仙北市指定給水装置工事業業者』の指定を受けている業者が行った場合に限り、水道料金が減免になります。

業者の問い合わせ、不明な点は企業局業務課までお問い合わせください。

なお、『仙北市指定給水装置工事業業者』の一覧は、ホームページに掲載しています。

●問合せ／企業局業務課 ☎ 54-2388

市役所からのお知らせ

semboku city information

12月28日夜間納税窓口開設のお知らせ

1

日中、仕事などで市税を納めることができない方のために、夜間納税窓口を開設します。

また、諸事情により市税を納めることが困難な方のために納税相談窓口も併せて開設しますのでお気軽にご来庁ください。

●日時／12月28日(水) 17:15～19:00

※開設時間に都合がつかない場合は、事前にご連絡ください。

●場所／税務課(田沢湖庁舎)、角館・西木地域センター

●問合せ／税務課 ☎ 43-1117

※多重債務に関する相談も随時行っていますので、ご遠慮なく来庁またはご連絡ください。

●平成23年12月28日納期限の税目は下記のとおりです。口座振替日も納期限と同日ですので、前日まで通帳の残高をご確認ください。

●平成23年12月28日納期限／国民健康保険税第6期・後期高齢者医療保険料(普通徴収)第6期・市民税(普通徴収)第4期

2 認知症の方を支える家族の会

認知症の方を自宅で介護されている家族の方々は、様々な悩みを抱え、その思いは深く複雑ではないでしょうか。

一人で抱え込んではいらい介護の悩みも、同じような経験をしている人どうしで、話すと楽になったり介護のヒントがつかめたりします。

包括支援センターでは、毎月1回、家族の方々とのお話の会を開催しています。多くの方の参加をお待ちしています。

●日時／平成24年1月10日(火) 10:00～11:30

●場所／西木総合開発センター 2階 農林研修室

●内容／①認知症についての相談 ②悩みを出し合いみんなで共に考えましょう

●対象／認知症の方を介護している家族

●問合せ／包括支援センター ☎ 43-2283

財団法人秋田県育英会 平成 24 年度 学生寮入寮生募集！

秋田県育英会では、平成 24 年度の学生寮入寮生を募集します。

【東京寮】（男子寮）
●所在地／東京都世田谷区北沢一丁目 41-22 ●交通／渋谷駅から井の頭線（5 分）3 駅目「池ノ上」駅下車、徒歩 3 分
【ビューリ千秋】（女子寮）
●所在地／神奈川県川崎市中原区宮内四丁目 31-5 ●交通／渋谷駅から東横線（急行 14 分）、川崎駅から JR 南武線（12 分）いずれも「武蔵小杉」駅で下車、駅前の東急バス 2 番線乗り場から「溝ノ口行き」バスで約 10 分「薬師前」下車、徒歩 1 分

●入寮資格／①秋田県出身者で、寮から通学できる範囲の大学・短大・専修学校（専門課程）に入学予定の方 ②秋田県育英会の大学、専修学校（専門課程）の奨学金を受けない方 ③共同生活の意義を理解し、寮則を守り、規律ある生活のできる方 ④寮費その他必要な経費を負担できる方 ●募集期間・面接日（会場）／①前期募集：平成 24 年 1 月 18 日（水）～ 31 日（火）→面接日：平成 24 年 2 月 16 日（木）（秋田県生涯学習センター）②後期募集：平成 24 年 2 月 6 日（月）～ 17 日（金）→面接日：【東京寮会場】平成 24 年 3 月 2 日（金）（東京寮・ビューリ千秋）【秋田市会場】平成 24 年 3 月 4 日（日）（カレッジプラザ 明徳館ビル 2 階）
＊募集要項は秋田県育英会ホームページからダウンロードできます。
＊詳しくは、下記へお問い合わせください。
●問合せ／財団法人秋田県育英会 ☎ 018-860-3552 ☎ 018-860-3555 ホームページ <http://www.akita-ikuei.jp>



お知らせ

冬季労働災害防止 キャンペーン実施中！

足元と周りをチェックして転倒災害、交通事故を防止しましょう。

▶通路、作業面の除雪を励行し、安全通路を確保する。 ▶凍結した路面等には、融雪剤を散布するなどの凍結防止措置を行う。 ▶服やズボンのポケットに手を入れたまま歩行しない。 ▶冬用タイヤを早期に装着する。 ▶急ハンドル、急ブレーキ、急発進を行わない。 ▶橋の上、トンネル内、その出入口、日陰に入る前に減速する。
●問合せ／詳しくは「秋田労働局健康安全課 ☎ 018-862-6683」または最寄りの労働基準監督署までどうぞ。

歩行型除雪機による 事故を防ごう！！

毎年、雪のシーズンになると除雪機による自己が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

▶作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。 ▶雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、プロフ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。 ▶回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。 ▶発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。 ▶除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。
●問合せ／社団法人農業機械工業会・除雪機安全協議会 ☎ 03-3433-0415 ホームページ <http://www.jfmma.or.jp>



お勤めをしている方を対象にした スキルアップセミナー

- 【多角形屋根の製作実習】
●日程／平成 24 年 2 月 2 日（木）・3 日（金） ●定員／10 人
- 【測量士補受験対策講習】
●日程／平成 24 年 2 月 8 日（水）・9 日（木） ●定員／10 人
- 【ホームページ作成講習（HTML & CSS 編）】
●日程／平成 24 年 2 月 8 日（水）・9 日（木） ●定員／10 人
- 【棒隅・谷木墨付け講習】
●日程／平成 24 年 2 月 16 日（木）・17 日（金） ●定員／10 人
- 【木工塗装講習】
●日程／平成 24 年 2 月 22 日（水）・23 日（木） ●定員／10 人
- 【木造建築物の組立等作業主任者講習】
●日程／平成 24 年 2 月 23 日（木）・24 日（金） ●定員／10 人
- 時間／9：00～17：00 ●場所／大曲技術専門学校 ●受講資格／現在お勤めしている方 ●受講料／無料（テキスト代は自己負担） ●申込・問合せ／大曲技術専門学校 民間訓練支援室 ☎ 0187-62-6321

相談

福祉サービスの苦情解決 をお手伝いします

「思っていたサービスの内容と違う」「詳しく説明してくれない」など不満や要望を、利用している事業所に話にくい場合や、話し合ってもなかなか解決しないときは、秋田県運営適正化委員会にご相談ください。

●問合せ／秋田県運営適正化委員会（秋田県福祉サービス相談支援センター）秋田市旭北栄町 1 番 5 号（秋田県社会福祉協議会内） ☎ 018-864-2726 ☎ 018-864-2742（相談：土・日・祝日・年末年始を除く 8 時 30 分から 17 時まで、面接、電話等に応じています）

講座・講習

角館キッズ学びい教室

「角館キッズ学びい教室」の時期がやってきました。地域とともに歩み続けて 11 年目・20 回目を迎えます。仙北市内小・中学校の児童・生徒のほか、他都市からの参加もお待ちしております。

●日時／12 月 26 日（月）、27 日（火）、28 日（水）9：00～11：00 ●会場／仙北市総合情報センター ●参加費／無料 ●問合せ／事務局 ☎ 53-2684



第 4 回パソコン講座 受講生募集

- ①パソコン基本
マウス・キーボード操作、文字入力、インターネット、電子メールなど
●対象者／初心者 ●日時／平成 24 年 1 月 11 日（水）、13 日（金）、18 日（水）、20 日（金）13：00～16：00
- ②エクセル基本
●対象者／パソコン基本操作をおおよそ習得している方 ●日時／平成 24 年 1 月 25 日（水）、26 日（木）13：00～16：00

●使用するパソコン／Windows XP ●場所／仙北市総合情報センター研修室（角館町田町上丁 23） ●費用／テキスト代：①パソコン基本 600 円 ②エクセル基本 300 円 ●定員／各 30 人 ●申込・問合せ／仙北市総合情報センター（土・日・祝日を除く） ☎ 43-3339

あじさい塾 in 学び場

●日時／12 月 20 日（火）19：00～20：30 ●会場／角館交流センター 第 1 研修室 ●内容／「発達障がいってなあに？ ～親として考えること～」講師：吉尾 純 先生（精神科医） ●問合せ／安藤 ☎ 090-2989-2918

33 歳厄払いと懇親会のお知らせ

角館中学校卒業生と 33 歳の厄払いを一緒にしませんか？
●期日／平成 24 年 2 月 1 日（水） ●参加料／▶お祝い：7,000 円（記念品含む）▶懇親会：11,000 円（グランデールガーデン）＊片方のみの参加もできます。 ●締切／12 月 31 日（土） ●申込・問合せ／33 歳厄払い実行委員会 代表 亀谷 渉 ☎ 090-1374-1558

仙北市商工会 新春会員大会

●期日／平成 24 年 1 月 12 日（木）16：00 ●場所／憐わらび座 温泉ゆぽぼ本館 ●内容／▶第 1 部：優良従業員表彰式 ▶第 2 部：記念講演会 ▶第 3 部：新春祝賀会 ＊会員大会の申込、優良従業員表彰者の推薦については商工会までお問い合わせください。
●問合せ／仙北市商工会 角館本所 ☎ 54-2304 田沢湖支所 ☎ 43-0372 西木支所 ☎ 47-2130

秋田県立角館南高等学校吹奏楽部 第 17 回定期演奏会

今年度の吹奏楽コンクールで演奏した曲からクリスマスメドレーなどのポップスまで幅広いジャンルの曲を演奏します。第 2 部にはマーチングのステージドリルもあります。個性あふれる女子高ならではの演奏会に、ぜひおいでください。

●日時／12 月 18 日（日）13：30 開場 14：00 開演 ●会場／大仙市仙市民会館ドンパル ●入場料／300 円 ●問合せ／角館南高等学校 舟山 ☎ 54-1166



イベント

鏡もち作り体験

●日時／12 月 28 日（水）10：00～12：00 ●場所／仙北市活性化施設（かたくり館）（西木町小山田字八津 249-1） ●内容／臼と杵での餅つきと鏡もち作り体験 ●参加費／1,000 円（鏡もち 1 組持ち帰り含む）昼食希望の方は別途 500 円（要予約） ●募集人数／15 人 ●募集締切／12 月 25 日（日） ●申込・問合せ／仙北市活性化施設（かたくり館） ☎ 47-3535

奇跡のピアノ X'mas ワンコインコンサート

●日時／12 月 24 日（土）14：00～14：40 ●会場／角館平福記念美術館 ●入場料／大人：500 円 学生・子ども：無料 ●主催／Oto を楽しむ会・古きピアノに輝くアートプロジェクト ●問合せ／安藤 ☎ 090-2989-2918

第 7 回仙北市新春書初大会

～新年の新たな気持ちを 筆に込めて～
恒例となりました公民館主催の「新春書初大会」を下記の日程で開催します。どなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください。

●日時／平成 24 年 1 月 6 日（金）9：00～12：00（予定） ●会場／角館交流センター ●課題／▶小 1「げんき」▶小 2「たつとし」▶小 3「はるの光」▶小 4「生きる力」▶小 5「日本の春」▶小 6「希望の年」▶中 1「強い信念」▶中 2「青雲大志」▶中 3「生命の尊重」＊上記は、「書友社」新年書初手本（中学生は行書） ＊高校生・一般参加者の課題は自由 ●参加費／無料（記念品進呈） ●持ち物／書道用具、下敷き（用紙は当日配布） ●申込先／最寄りの公民館の窓口か、電話で氏名・年齢（学生は学校名・学年）住所・電話番号をお知らせください。 ▶田沢湖公民館 ☎ 43-1061 ▶角館公民館 ☎ 54-1110 ▶西木公民館 ☎ 47-3100 ●申込期限／12 月 22 日（木）17：00

角館春慶展

【会期】平成24年1月29日（日）まで
【休館日】平成23年12月28日（水）～平成24年1月4日（水）※1月1日は開館します。
【開館時間】9：00～16：30（入館は4時まで）
【会場】角館榊細工伝承館 ☎54-1700
【入館料】300円（小中学生は無料・団体割引券もあります）
※仙北市民は無料で入場できます。



角館春慶は今から200年ほど前に、角館の町人「長八」によって始められたといわれ、別名「長八塗」とも呼ばれますが、その伝播経路は定かではありません。長八以後、この技は各家々に伝わり、明治時代にはかなりの生産高がありましたが、大正時代には次第に衰退していきました。昭和になると、長八の流れを汲む平瀬貞吉が出現し、伝統の技の復活と新製品の開発に着手しましたが、貞吉が若くして死去した昭和12年以降は再び輝きを失い、現在では後継者もなくその仕事が途絶えてしまいました。

この春慶塗は、ヒバの伐根を素地に、ウコン・スオウなどで色づけし、透明な漆を摺り込んで仕上げますが、木目の美しさを生かした盆や膳を中心に、実用的な生活品として広く普及していた塗り物です。

この度の展覧会では、その種類・年代・製作者別の作品や道具類まで展示し、その全貌に迫るものです。参考品として、飛騨春慶や能代春慶の優品、平瀬貞吉を支えた郷土画家の作品も同時に展示しています。

開催にあたり、多大なるご支援やご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。また市民の皆さまには、角館春慶の懐かしく味わい深い美しさを鑑賞いただきたく、展覧会のあらましをご紹介します。ご来館をお待ちしています。

※なお、平成24年1月10日（火）午前10時より、この展覧会を紹介するギャラリートークを実施します。ご興味のある方は伝承館においでください。

仙北市の行事予定 12月16日（金）～1月4日（水）

16 金	豊齢学園 3地区交流研修会・閉講式 ■時間 10:30～ ■場所 クリオン
17 土	たざわことしょかん おはなし玉手箱 ■時間 10:00～12:00 ■場所 田沢湖図書館
18 日	田沢地区年末チャリティショー ■時間 12:00～ ■場所 田沢交流センター 第4回「愛のり列車」 ■時間 8:20～ ■場所 秋田内陸線角館駅（集合）
19 月	第3回パソコン教室 ■時間 13:00～16:00 ■場所 総合情報センター
20 火	あじさい塾 in 学び場 ■時間 19:00～20:30 ■場所 角館交流センター 第3回パソコン教室 ■時間 13:00～16:00 ■場所 総合情報センター
21 水	行政相談所開設 ■時間 13:00～16:00 ■場所 田沢湖総合開発センター 社会福祉協議会 心配ごと相談日 ■時間 13:00～16:00 ■場所 田沢湖総合開発センター 第7回仙北市議会定例会最終日
22 木	社会福祉協議会 心配ごと相談日 ■時間 13:00～16:00 ■場所 社会福祉協議会角館支所
23 金	
24 土	奇跡のピアノ X'mas ワンコインコンサート ■時間 14:00～14:40 ■場所 角館平福記念美術館
25 日	
26 月	角館キッズ学びい教室 ■時間 9:00～11:00 ■場所 総合情報センター
27 火	角館キッズ学びい教室 ■時間 9:00～11:00 ■場所 総合情報センター
28 水	鏡もち作り体験 ■時間 10:00～12:00 ■場所 仙北市活性化施設（かたくり館） 角館キッズ学びい教室 ■時間 9:00～11:00 ■場所 総合情報センター 税務課夜間納税窓口開設 ■時間 17:15～19:00 ■場所 仙北市役所田沢湖・角館・西木庁舎
29 木	
30 金	
31 土	
1/1 日	
2 月	
3 火	
4 水	



石綿による疾病に気づいていない方を探しています

石綿による疾病は、数十年前の仕事でも発症します。

- ☑過去に石綿を取り扱う仕事をしていたことがありますか。
- ☑過去に仕事で石綿を吸い込んだ可能性はありませんか。
- ☑息切れ、せき、胸が苦しい等の症状がでていませんか。
- ☑ご家族などで、中皮腫、肺がん等で亡くなられた方はいませんか。

上記に心当たりのある方は、最寄りの労働基準監督署または秋田県労働局に、ご相談ください。

石綿による疾病と認められた場合、労災保険給付または特別遺族給付金を受けられる場合があります。

＊特別遺族給付金の請求期限は、平成24年3月27日までです。

＊労災保険給付の請求についても請求期限（時効）があります。（療養補償給付・休業補償給付：2年、遺族補償給付：5年）
●問合せ／▶大曲労働基準監督署 ☎0187-63-5151 ▶秋田労働局 労働基準部労災補償課 ☎018-883-4275

石綿を原因とする病気について、労災保険や特別遺族給付金等の支給対象に該当しない場合でも、救済給付の対象となる場合があります。

詳しくは、「独立行政法人環境再生保全機構（☎0120-389-931）にお問い合わせください。

認知症のひと家族の会秋田県支部事務局から「つどい」開催のお知らせ

認知症のひと家族の会秋田県支部では、毎月、認知症のひととご家族同士の交流の場として「つどい」を開催しています。参加は無料でどなたでも参加できます。

事前申し込みはいりません。当日会場までお越しください。途中入室、退室も自由です。

●日時／12月18日（日）13：30～15：30 ●会場／ジョイナス（秋田市）
●問合せ／認知症のひとと家族の会秋田県支部事務局 ☎018-866-0391（FAX 兼） 電話の場合は、毎週月曜日10：30～14：00まで対応

12月は 飲酒運転追放県民運動 強調期間

年末の交通安全運動が12月11日（日）から20日（火）までの10日間実施されるとともに、12月は「飲酒運転追放県民運動強調期間」となっています。

これから年末を迎え、積雪や凍結によるスリップ事故の危険、忘年会等の飲酒の機会の増加から飲酒運転による事故の多発が心配されます。市民の皆様の一層のご協力をお願いします。

●仙北市交通安全対策協議会 仙北地区交通安全協会 仙北警察署

第3セクター情報

（株）アロマ田沢湖 田沢湖ハーブガーデン 「ハートハーブ」 【出張体験教室】

ワラしめリースにブリーザーブドフラワーや小菊、五葉松などお正月用にアレンジ。おしゃれに飾りつけてみませんか。今年は、きっといつもより華やかなお正月を迎えることでしょう♪

- 日時／12月23日（金）天皇誕生日 ●料金／2,000円（税込）
- 定員／20人（定員になり次第締切）
- 所要時間／14：00～16：00
- 問合せ／担当 小西 ☎43-2424

お知らせナビ

水と緑の森づくり税（県民提案事業）森づくり活動を応援します

県民みんなの共有財産である「ふるさと秋田」の森林。この森林を、将来にわたって健全に守り育てていくため、県では「水と緑の森づくり税」を導入し、県民の皆さんの自由な発想による森づくり活動を応援しています。

「ここの森には木を植えた方が良いのでは？」「森林の中に入って、森林の大切さを学びたい」「木が大きく育つために、手入れをしたい」とお考えの方は、応募してみませんか？

●募集期間／平成24年2月10日（金）必着（郵送の場合は当日消印有効です） ●募集内容／森林の手入れや森林の中で行う体験活動や自然観察会など、森づくりへの関心を高め、県民参加の森づくりを推進する取り組みを支援します。（例）▶植樹、下刈り、枝打ちなどの森林の保全活動 ▶子どもたちを対象とした森林教室 ▶間伐材などを利用した木工教室 ●補助金額（補助率）／1件あたりの補助上限額が40万円です。（補助対象経費について10分の10以内で補助） ●応募できる団体／①法人格を有する団体（NPO法人等）、企業、組合、幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校、大学など ②PTA、自治会等の地域住民団体 ③その他各種ボランティア、大学等学生や若い世代で構成するグループなどの任意団体（ただし、規約等が定められており、総会等が開催されている非営利団体とする） ●申込・問合せ／仙北地域振興局森づくり推進課 ☎0187-63-6113 【秋田県水と緑の森づくり税ホームページ】<http://common.pref.akita.lg.jp/mizumidori/>





秋田ノーザンハピネッツ
長谷川誠プレイングマネージャーが神代小学校を訪問



児童から「小学校で学んだことで今でも役立っていることは？」の質問に、「相手を思いやる気持ち。ただ、そのときから目標を立てていれば、もっと上のレベルで夢がかなえられるのかなと思う」と、長谷川PM。



12月5日に行われた、2012 ミス・ユニバース・ジャパン秋田大会ファイナルで見事、秋田代表になった吉井絵梨子さん（秋田市）が市役所を訪れました。

11月下旬に田沢湖ホテル イスキアや夏瀬温泉 都わすれで「ビューティーキャンプ」を行い、メイクアップ講座などのおかげで自分に自信がもてるようになったことを話しました。

「今の目標は、日本代表になって世界に秋田をアピールしたい」と抱負を語りました。



編集後記

〇〇のつぶやき



▼ クリスマスが近づき、市内のあちこちでイルミネーションを見かける機会も増えてきました。

「サンタ」「プレゼント」「ケーキ」と単語を聞くだけでなんとなくうれしくなります。「トナカイ」「靴下」・・・今はうれしく感じます。いくつになってもこの感覚は持ち続けていきたいものです。（S A）
▼ 気が付くと今年もあと少し。いろいろなことがありました。が、あつという間に1年がたったような気がします。来年は、個人的に良いことがある予定です。楽しみにして、いろいろ頑張りたいと思います。（T R）
▼ 広報入稿日は朝から雪。窓の外の景色も真っ白になり、いよいよ冬本番でしょう。12月16日号お届けします。早いもので形式的には今年最後の広報です。特集「中川地域」で取材をお願いした皆さま、時間の限られた急なお願いに丁寧に対応していただきました。ご協力に感謝いたします。（Y O）

広報せんぼく 2011年12月16日号 No.96

- 発行・編集 仙北市役所総務課文書広報係
- 制作協力 広報編集委員会
- 〒014-1298
- 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後 30 番地
- 発行日 1日・16日
- TEL 0187-43-1111
- FAX 0187-43-1300
- E-mail semboku@city.semboku.akita.jp
- URL <http://www.city.semboku.akita.jp/>
- 印刷 ㈱三森印刷

防災情報・安心情報・子育て情報・学校情報

『仙北市安全・安心メール』にご登録ください

空メールで簡単登録！

toroku@anshin.city.semboku.akita.jp へ空メールを送信してください。返信されるメールの内容に従って本登録を行ってください。

● <http://anshin.city.semboku.akita.jp> から登録できます。



安全安心情報